⑮　本案件は、提出資料、入札を電子入札システムで行うものであり、対応についての詳細は、入札説明書による。

⑯　詳細は、入札説明書による。

別表１　本入札手続きに係る期間等

①　入札説明書の交付期間　平成30年４月３日から平成30年６月19日まで

②　図面、仕様書等の交付期間　平成30年４月３日から平成30年６月19日まで（土曜日、日曜日及び祝日並びにゴールデンウィーク（平成30年４月28日から平成30年５月６日まで）（以下、「休日」という。）を除く。）

③　申請書等の受付期間　（申請書及び一次審査に関する資料（技術提案以外））平成30年４月４日から平成30年４月16日までの休日を除く毎日、10時から16時まで

④　競争参加資格の通知及び一次審査に係わる結果通知　平成30年５月16日まで

⑤　技術提案及び入札の受付期間　（二次審査）平成30年６月18日から平成30年６月19日までの休日を除く毎日、10時から16時まで

⑥　二次審査に係わる技術提案書の採否通知及び競争参加資格が無い場合の通知　平成30年７月18日まで

⑦　開札日時　平成30年７月30日10時00分

⑧　入札保証金の納付等の受付期間　平成30年５月17日から平成30年６月19日までの休日を除く毎日、10時から16時まで〔利付国債の提供の場合は平成30年６月７日まで〕

6　Summary

⑴　Official in charge of disbursement of the procuring entity : Hirokazu Tsukahara Director General of Chubu Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism.

⑵　Classification of the services to be procured : 41

⑶　Subject matter of the contract : Construction work of the Gifuyamagata Tunnel No. 1, Route 475

⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification by electronic bidding system : 4 : 00 P.M. 16 April 2018

入 札 公 告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

本入札公告に記載の工事は、技術資料を共通化できる２件の工事を対象に、一括して公告し、審査を実施する試行工事である。

本件の入札にあたっては、電子入札システムにおいて２件の工事が別々に案件登録されているので、複数の工事に参加を希望する場合は、参加を希望する工事毎に申請書の提出及び入札が必要である。

平成 30 年４月３日

支出負担行為担当官

中部地方整備局長　塚原　浩一

◎調達機関番号　020　◎所在地番号　23

○第２号

1　工事概要

⑴　品目分類番号　41

⑵　工事名

①　平成30年度三遠南信小嵐トンネル本坑工事（電子入札対象案件）

②　平成30年度三遠南信池島トンネル本坑工事（電子入札対象案件）

⑶　工事場所

①　長野県飯田市南信濃

②　長野県飯田市南信濃～静岡県浜松市天竜区水窪町

⑷　工事内容

①　工事延長　Ｌ＝3,140ｍ（トンネル掘削延長　Ｌ＝2,854m）、トンネル工（ＮＡＴＭ）１式、道路改良１式、仮設工１式

②　工事延長　Ｌ＝2,790ｍ（トンネル掘削延長　Ｌ＝2,144m）、トンネル工（ＮＡＴＭ）１式、道路改良１式、仮設工１式

⑸　工期

①　契約締結日の翌日から平成35年３月24日まで

②　契約締結日の翌日から平成35年３月24日まで

⑹　使用する主要な資機材

①　コンクリート　約46,130㎥、Ｈ形鋼支保　約1,740ｔ、鉄筋　約100ｔ、セメント　約8,290ｔ

②　コンクリート　約38,420㎥、Ｈ形鋼支保　約2,277ｔ、鉄筋　約499ｔ、セメント　約9,104ｔ

⑺　本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

⑻　本工事は、特定建設工事共同企業体の資格の認定を受けている者（特定ＪＶ）と、一般競争参加資格の認定を受けている者（単体企業）が競争参加することができる、いわゆる「混合入札」の方法によるものである。

⑼　本工事は、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式のうち、企業・技術者の能力等、品質確保のための体制、その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式（技術提案評価型Ｓ型）の試行工事である。

なお、上記取り組みの詳細については、国土交通省中部地方整備局ホームページアドレス：http://www.cbr.mlit.go.jp/「企業と自治体」―「入札・契約情報」―「工事」―「総合評価運用ガイドライン（工事関係）」に記載されているとおりである。

⑽　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の対象工事である。

⑾　本工事は、入札書及び技術提案書等の同時提出を行う工事である。

⑿　本工事は、40歳以下の技術者を主任技術者又は監理技術者にて配置する場合、工事成績において評価する「若手技術者登用・育成工事」の試行工事である。

⒀　本工事は、受注者の希望により完全週休２日を確保した施工を実施できる試行の対象工事である。ただし、実施については、施工計画書を提出する前に監督職員と協議するものとし、完全週休２日を確保出来た場合に工事成績評定点において評価する。

また、本工事の完成時に、完全週休２日の履行実施取組証が発行された場合、今後、中部地方整備局で発注される総合評価の評価項目において加点対象とする工事である。

なお、取組証は、対象期間中の全週間数に対して、休日対象日を現場休工とした週間数の割合が70％を超えた場合に発行する。

⒁　本工事において、中間前金払に代わり、既済部分払を選択した場合には、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施する「出来高部分払方式」を採用する。

⒂　本工事は、資料の提出、入札等を電子入札システムで行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。

⒃　本工事は、段階的選抜方式における一次審査に係る申請書（以下「申請書」という。）及び段階的選抜方式における一次審査に係る確認資料（以下「確認資料」という。）を提出した者のうち、一次審査の審査評価点合計が上位の者（以下「一次選抜者」という。）以外の競争参加者による入札を無効とする段階的選抜方式の試行工事である。

一次選抜者は、一次審査の審査評価点合計が上位10者（審査評価点合計が同じ者が複数いる場合は、そのすべての者を含む。）とする。ただし、一次審査の審査評価対象者が10者を超える場合は、10者を超えた者のうち上位半数（少数が発生した場合は少数第１位を切上）の者（審査評価点合計が同じ者が複数いる場合は、そのすべての者を含む。）を加える。

⒄　総価契約単価合意方式の適用

①　本工事は、「総価契約単価合意方式」の対象工事である。本工事では、契約変更等における協議の円滑化に資するため、契約締結後に、受発注者間の協議により総価契約の内訳としての単価等について合意するものとする。

②　本方式の実施方式としては、

イ　単価個別合意方式（工事数量総括表の細別の単価（一式の場合は金額。ロにおいて同じ。）のそれぞれを算出した上で、当該単価について合意する方式）

ロ　包括的単価個別合意方式（工事数量総括表の細別の単価に請負代金比率を乗じて得た各金額について合意する方式）があり、受注者が選択するものとする。ただし、受注者が単価個別合意方式を選択した場合において、①の協議の開始の日から14日以内に協議が整わないときは、包括的単価個別合意方式を適用するものとする。